

はこだて国際科学祭 2012・プレイベント

<http://www.sciencefestival.jp/>

はこだて国際科学祭 2012 (会期 8/18~8/26) のプレイベントとして、科学と社会の未来を考える2つのイベントを開催します。

日時 2012年7月29日(日) 10:00~17:00
会場 函館市中央図書館 視聴覚ホール
対象 高校生・一般市民 (大人向け)

入場無料

申込不要

サイエンストーク

10:00 - 12:00

高校生の科学研究にスポットをあて、その成果発表を聞き、共に考えます。前半の研究発表では海や環境に関わるテーマを中心に3件の発表があります。今後社会を担っていく高校生ならではの視点や、地道な調査活動の成果を共有し、応援しましょう。後半は、函館の海の科学研究成果から注目を集めるガゴメ昆布を題材に、発表者・参加者が共に体験する実験教室を行います。

研究発表

1：遺愛女子高等学校 地学部

「大森浜の海岸浸食 ～イカ看板のメッセージ～」

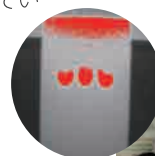
遺愛女子高等学校 地学部は 1998 年から大森浜で漂着ゴミを調べてきました。2006 年からは測量をして大森浜の地形変化を調べています。海の流れて作られた砂浜が、逆に海の流れて壊されていく…人と海の関わり合いを考えます。



2：函館大学附属柏稜高等学校 理科研究部

「TLC とオープンソースを用いたビタミン B2 の定量化」

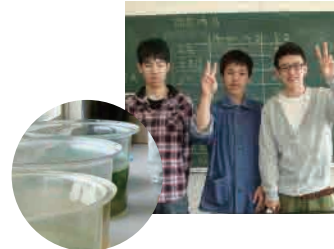
発表者は、様々な食品に含まれるビタミン B2 に興味を持ちました。本研究はビタミン B2 含有量を測定する方法の確立を目的とし、TLC (薄層クロマトグラフィ) という分析手法と、オープンソースの画像解析ソフトを用いて高校実験室レベルにおいても定量化できる方法を検討しました。



3：北海道函館水産高等学校 海洋技術科

「森川海への環境調査 part2」

北海道函館水産高等学校 海洋技術科では、毎年函館湾に注ぐ河川の生物的、化学的環境調査と函館湾の海底泥の採取分析、水中カメラで撮影した海底映像から、函館湾の漁場環境をモニタリングしています。今年度は水草を利用した大沼の水質浄化にも取り組んでいます。



実験教室



函館特産！「ガゴメのとりみ」の科学

講師：仲川昇一氏、福田寛氏 (一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構)

ガゴメはネバネバとした「とりみ」が特徴の海藻で、昆布の仲間です。近年、ガゴメのとりみにアルギン酸、フコイダンといった健康や美容に関わる成分が豊富に含まれることが分かり、一躍函館の特産品として注目されるようになりました。実物を見て、触れて、とりみを科学しながらガゴメの知識を深めてみませんか。

ワークショップ

14:00 - 17:00

環境と函館の未来、一緒に考えてみよう

ワークショップ「2050年委員会 in ハコダテ」

西暦 2050 年、わたしたちの社会はかつてない「縮小」の只中にあると予測されています。人口減少・地域の衰退・環境問題…等々、こうした事象を悲観的に捉えるのではなく、人々の意識や行動を変える新しい方法が求められています。この「2050年委員会」は、大学や地域に集う多様な人々が持つ知識や資源を掛け合わせ、近未来に直面する問題を解決する知恵を楽しみながら可視化していくワークショップです。研究者・実践家によるプレゼンテーションをもとに、会場全体で、2050年の函館を素敵にするアイデアづくりのディスカッションを試みます。

企画・運営：北海道大学大学院環境科学院グローバルCOEプログラム

トークセッション

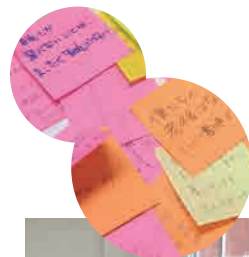
地球温暖化問題の専門家・山中康裕氏 (北海道大学大学院地球環境科学研究院教授) からの話題提供により、2050年の地球環境と地域のあり方を結び視点を共有します。

映像プレゼンテーション

研究者・クリエイター・企業家…様々なジャンルで活動するプロフェッショナルたちの発言から、2050年の社会を考えるヒントを探ります。

ワールドカフェ形式の意見交換

会場に集まった全員で小さなグループにわかれ、2050年の函館のまちや暮らしを素敵にするアイデアを出しあいます。



サイエンストークに関するお問い合わせ：

はこだて国際科学祭ディレクター、サイエンス・サポート函館運営委員 渡辺儀輝 (市立函館高等学校 0138-52-0099)

ワークショップに関するお問い合わせ：

サイエンス・サポート函館運営委員 渡辺保史 (yaswtbn@gmail.com / 090-7517-6521)